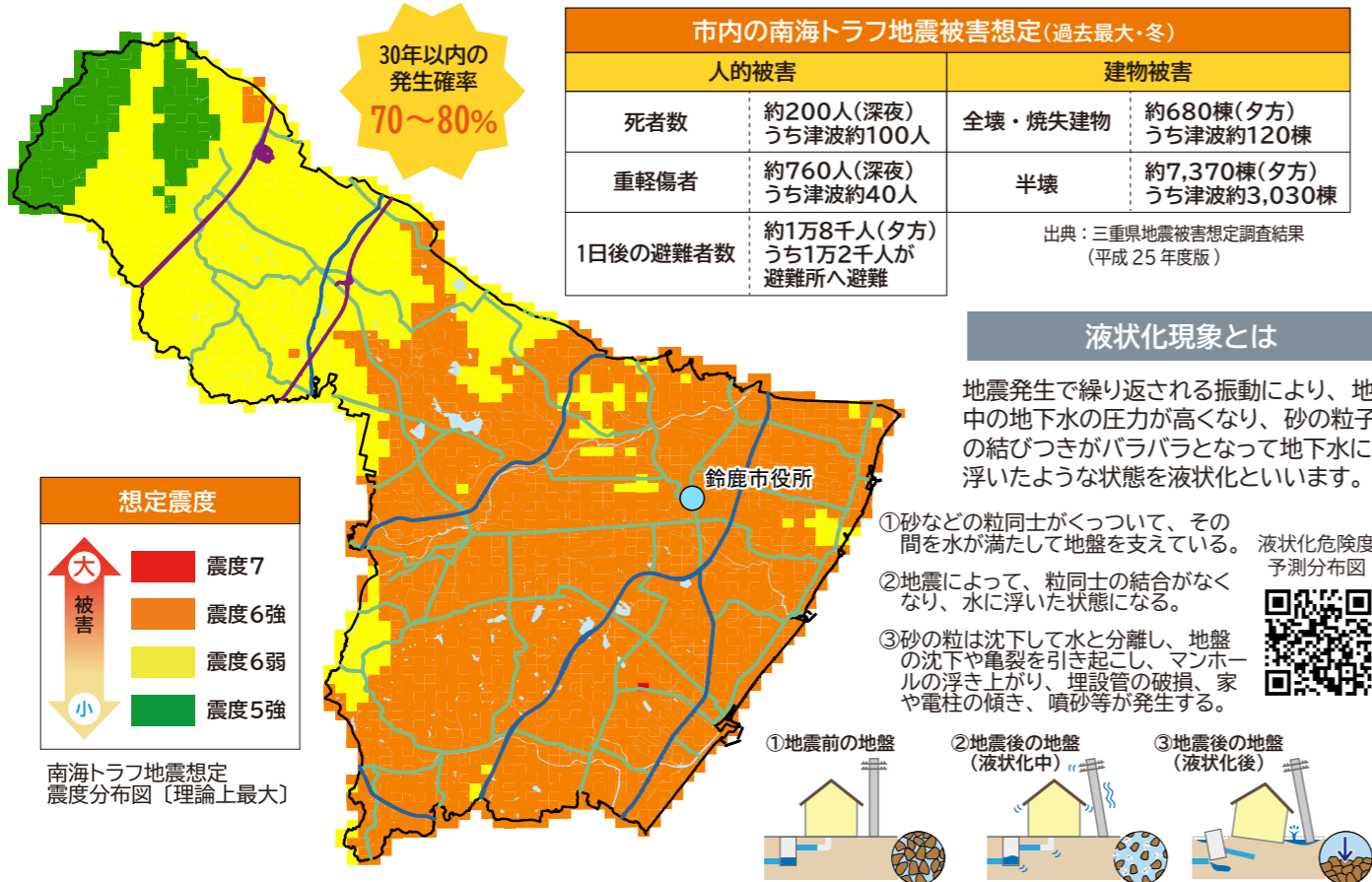


地震に対する心得

南海トラフ地震の被害想定

鈴鹿市域に大きな影響を及ぼすことが想定されている南海トラフ地震の震度分布図です。



南海トラフ地震臨時情報

南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合等に、気象庁が「南海トラフ地震臨時情報」を発表します。

想定震源域またはその周辺で異常な現象が観測され、気象庁が南海トラフ地震臨時情報(調査中)を発表

国：異常な現象を評価

気象庁：評価結果を発表

評価結果：巨大地震注意

想定震源域またはその周辺でM7クラスの地震が発生(一部割れ)
※プレート境界で異常なゆっくりすべりが観測されても発表されます。

評価結果：巨大地震警戒

想定震源域のプレート境界でM8以上の地震が発生(半割れ)
1週間以内に巨大地震が発生するおそれが一気に高まります。

臨時情報が発表されたら			
南海トラフ西側で地震が発生してから	1週間まで	1～2週間	2週間以降
防災対応対象地域	巨大地震警戒対応	巨大地震注意対応	通常の生活に戻る
内陸の地域 ・地震への備えを再確認するなど地震に警戒し生活 ・必要に応じて自主避難	津波浸水予測区域 ・避難準備をし、必要に応じて自主避難 ・避難に時間がかかる高齢者など配慮が必要な方は避難		
高齢者等事前避難対象地域 ※津波浸水予測区域の外までの歩行距離が1,500m以上ある地域 地区：一ノ宮 長太新町二丁目 地区：白子 白子一・二丁目 白子本町 地区：栄 東磯山一～四丁目 磯山一～三丁目	【巨大地震への備え】 ・非常持出袋はすぐに取り出せる場所に用意 ・部屋の整理、整頓をする ・枕元には懐中電灯、靴を置いておく ・家族との集合場所を決める		
避難所の開設	津波浸水予測区域の外の一部避難所を開設		

地震発生の可能性がなくなったわけではないこと、注意しながら、通常の生活を行う

地震発生時の行動

気象庁が最大震度5弱以上の揺れを予想した時に、震度4以上の揺れが予想される地域を対象に携帯電話、テレビ、ラジオなどを通じて「緊急地震速報」が伝えられ、その数秒～十数秒後に強い揺れが始まります。この間に身を守る行動をとりましょう。

※ただし、震源域に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。

地震発生!! 身の安全を確保!

緊急地震速報!
まず低く 頭を守る 動かない

屋外

ガラスの破片や、看板・瓦などの落下物や、電柱・ブロック塀などの倒壊に注意。

屋内

学校や仕事なら机の下に入る。買い物中ならカバンや買い物かごで頭を保護。

揺れがおさまったら 家族で声を掛け合い、お互いの安全を確認する。

1分～2分: OFF すぐ火元の確認をして元栓やブレーカーを切る。 窓ガラスや食器類が散乱することもあるので室内でも靴を履き、出口を確保。

正しい情報をつかむ 大きい地震の場合、引き続き揺れが発生する可能性があります。

5分～10分: ●テレビやラジオ、防災行政無線など公共性の高い正しい情報を得る ●情報の入手方法はP66、P67へ

- テレビのデータ放送やラジオ各局で地域の災害情報が流れます。
- 防災行政無線や広報車などで緊急情報をお知らせします。
- 緊急速報メールは避難指示など緊急度の高い情報を市内に存在する携帯電話に一斉送信します。
- 防災みえ.jpは登録した携帯電話などへ緊急情報などを配信します。

10分～数時間: ●状況に応じて冷静に対応 ●家屋倒壊の危険などがあれば避難。

- 隣近所の安否確認
- 自治会、自主防災組織で安否確認
- 地域ぐるみで協力し合って救急、救護、初期消火

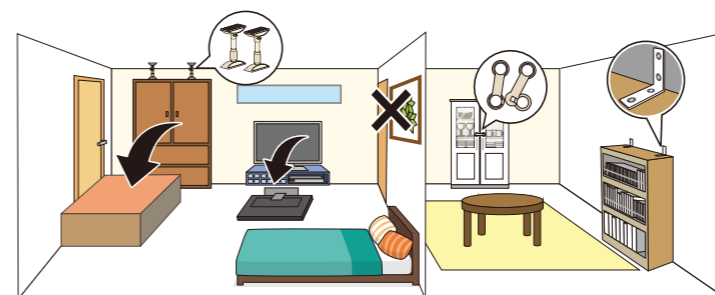
自宅での生活が可能な場合: 自宅へ

自宅での生活が不可能な場合: 避難所で避難生活

収容避難所 福祉避難所 避難所一覧(P80～P87)

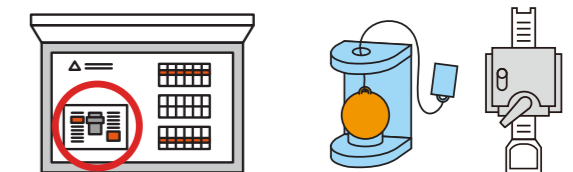
家具の配置・転倒防止

- 家具が倒れて扉をふさぐような配置にしない。
- 窓の近くに家具を置かない。
- 頭上に額など落ちる可能性があるものを置かない。
- 食器棚からものが飛び出さないようにロックをつける。
- 壁に取り付け可能な場合はL字金具等で固定。
- 天井に近い家具は突っ張るタイプの転倒防止器具を使用。



感震ブレーカーを設置しましょう

「感震ブレーカー」は、設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止め、電気火災の発生を防止するための器具です。感震ブレーカーの設置に際しては、停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを常備するなど、急に電気が止まっても困らないための対策も必要です。



分電盤タイプ(内蔵型) 簡易タイプ